

なんだ・かんだ

◆ オンライン診療 ◆

厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の患者が爆発的に増えた場合、自宅療養する軽症者へのビデオ通話によるオンライン診療を特例的に認めると発表しました。

新型コロナウイルス感染症の診断や治療が直接の対面診療により行われた「陽性」の患者に対して、診断を行った医師又は、かかりつけ医等が必要と判断した場合に限り、オンライン診療を受けることができ、薬の処方してもらえます。ただし、「特例」のため感染が終息すれば変更、廃止となる見込みだそうです。

今後、仮に患者が爆発的に急増すれば病院のベッドは重症患者が優先的に使い、軽症患者は自宅療養が基本となる様です。(イタリアなどは軽症者も入院させた為に医療施設が足りなくなり収拾がつかない状態になってしまいました。) その際自宅療養している軽症者の重症化を見逃さないための経過観察が不可欠となりますが、オンライン診療ならば「問診」に加え「視診」もできます。感染の拡大阻止や健全な医療機関の保全には有益な手段だと思います。

日本ではオンライン診療は2018年度に保険適用されましたが、対面診療を重視する医療界の反発で、対象疾患が生活習慣病などに限られ、対象患者は、①対面診療を初めて実施した月から「6カ月以上」経過。②直近6カ月間、オンライン診療を行う医師と毎月対面診療を行っている。(今年の4月から、①と②のいずれも「3カ月以上」に緩和されます) など結構ハードルが高く、更に医療機関側もオンライン診療は一般診療より低報酬という問題もあり、浸透していない状況だそうです。

過去の対面診療実績という要件を緩和して利用者拡大につながればと思いますが、高齢者がパソコンやスマホを使いこなさなければならないという壁も存在し急な普及は難しいと言われています。

新聞記事には、厚生労働省の調査によると、保険適用から約3カ月後の18年7月時点でオンライン診療を実施する医療機関は1000カ所程度で全国の医療機関の1%に満たなかったと掲載されていましたが、昨日「オンライン診療可能な医療機関」をネットで調べてみたところ全国で681件しかありませんでした。ちなみに静岡県でオンライン診療に対応できる病院は23件で、その内静岡県東部は裾野市・三島市・伊豆の国市に各1件ずつ合計3件しかありませんでした。沼津市においては0件でした。(民間のサイトに掲載されたデータです。公的な統計データではありませんが少なすぎることは確かだと思います)

オンライン診療を利用するには、インターネット環境のある自宅等でパソコンやスマホ、タブレットに専用のオンライン診療アプリをインストールして患者は予約時間の前に待機、医師は診察室のパソコンでシステムを立ち上げてカルテ情報を開き、モニターを通じて患者と向き合う。あとは対面診療と何ら変わらないということです。

病院に行くと、診察までに待たされ、診察は数分、そして会計で待たされ、結構時間がかかります。そして年を取るに従い通院する回数も増えてきます。オンライン診療が今回の「特例」で終わるのではなく、当たり前になってもらいたいと思います。



■ 新型コロナウイルス対策について ■

この度、全国的な新型コロナウイルスの拡大を受け、当社社員は、37℃以上の発熱がある場合は自宅待機、そして外出先から会社に戻り事務所に入室する際は、石鹸による手洗いとうがいをする様にしております。

また誠に失礼ではありますが、接客の際はマスク着用にて対応させていただきます。ご容赦のほどお願い致します。

更に当社へ来訪される皆様におかれましては、37℃以上の発熱のある方は来訪をご遠慮願います。また、出来るだけマスクの着用をして頂き、事務所に入室の際は備え付けの消毒液にて手指の消毒をして頂く様お願い致します。何卒、ご理解とご協力を頂きますよう宜しくお願いいたします。

春が来ない冬はない

新型コロナウイルスが世界中を混乱に落とし入れて出口が見えない状況が続いています。そんな中でも桜は咲いてくれます。今年の桜は例年よりもだいぶ早く咲いて散るのも早い様です。新型コロナウイルスも早々に散って消えてくれればと思います。

さて、早いもので年度末の3月です。今年はお出しが良く、改元や参院選のプラス要素と、中国の減速・消費税増税のマイナス要素があり後半に失速しなければ良いなと思っていただけですが、年が明けると新型コロナウイルスという大きな爆弾が落ちてきてどうにもならない状況に陥ってしまいました。

今年度の決算は何とか乗り越えることができそうですが、来年度4月以降どうなるのか見当もつきません。3・11の時も同じような感覚でしたが、あの時は電気が足りないとという日本国内だけの問題でした。また、リーマンショックは世界を巻き込んだ混乱でしたが、人々が感染の恐怖に怯えたり、日々の活動を制限されるようなことはありませんでした。

とは言え「春が来ない冬はない」とよく言われます。中国では回復の芽が出てきたそうです。春は近いかもしれませんが、希望を持っていきましょう。

代表取締役 服部 敏一郎

社員ブログ

● 新居 ●

営業部 越水健人

今世間では色々なことが起こり落ち着かない日々ですが、我が家ではマイホームを購入し、現在着々と完成に近づいています。

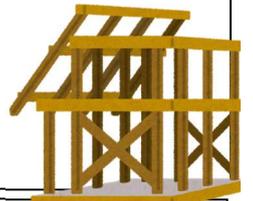
完成予定は7月後半で、この時期はキッチンやトイレなどの水回りを決めていきます。

新しく建てる家は、自分の両親と一緒に住む2世帯住宅なので、今決めている水回りは全て2世帯分で2個ずつ必要となり、建築にかかる費用も跳ね上がってしまいます。なので、その分私が仕事を頑張って稼がないといけないうと日々考えています。

私は学生の頃、両親にかなり迷惑をかけました。

いつか親孝行がしたいと考えている中で、一生に一度の買い物で親孝行を決意しました。

家が完成した後、妻には同居ということで気を使わせてしまうことも多々あるかと思いますが、そこは私が上手に立ち回って家庭を回していければと思います。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail g.hattori.1@chikiri.com URL <http://www.chikiri.com/>